

木や森との持続的な共存と未来を考える6日間

乃村工藝社、イベント「木と生きる」に出展・セミナー登壇

期間：2024年4月16日（火）～4月21日（日）／ 会場：東京日比谷ミッドタウン



乃村工藝社は、2024年4月16日（火）～4月21日（日）に東京ミッドタウン日比谷で開催される、株式会社ディスカバー・ジャパンと三井不動産株式会社主催、17の団体が共同参加する、「木」を知り学びを深めるイベント「[木と生きる](#)」に出展・セミナー登壇します。

乃村工藝社グループは2010年に「[フェアウッド応援宣言](#)」を発表。フェアウッド、とくに国産材の価値を活かして使うことを通じて、自然と人、人と人、地域と都市を結び直し、誰もが豊かさを実感できる社会の共創に取り組んでいます。このたび、三井不動産株式会社の「都市と公園の融合を図り、緑やオープンスペースと街が連続した、心を豊かにする街づくり」や、東京ミッドタウンマネジメント株式会社の「歴史と文化を受け継ぎながら新たに価値を創造する」という考え方、株式会社ディスカバー・ジャパンの「日本の魅力を再発見し、日本文化が未来へ継続していくきっかけづくりを目指す」という理念に賛同し、乃村工藝社は共同参加団体として本イベントに参画しています。（乃村工藝社が担当したフェアウッド関連プロジェクトは[こちら](#)から）

本イベントは、木や自然についてさまざまな角度で読み解いていくシンポジウム、木とのかかわりあい方をインスタレーションで表現するイントロダクションエリア、共同参加団体の取組を展示するパネルエキシビジョン、木に直接触れられる作品を作るワークショップなど、さまざまな「木を知る」体験を通じ、「木と生きる」未来を考えるきっかけを創出しながら、心を豊かにする街づくりについてともに考える場です。

乃村工藝社は4月19日（金）18時から開催されるシンポジウムにデザイナー井上 裕史が登壇、木を活かすものづくりについてお話しします。また「木と生きる」をテーマにしたイベントを象徴する空間として、東京ミッドタウン日比谷 1階 アトリウム・イントロダクションエリアの空間プロデュースを担当。当社クリエイターが埼玉県飯能市の方々とつくりあげた空間を、香りや音、光を背景に五感で体験いただけます。パネルエキシビジョンでは、当社[ソーシャルグッドR&D](#)の一環である「手デザイン」の活動成果をご覧ください。

イベント概要

開催期間：2024年4月16日(火)～4月21日(日) 6日間

開催場所：東京ミッドタウン日比谷

主催：株式会社ディスカバー・ジャパン 三井不動産株式会社

共同参加団体：株式会社イトーキ、エステー株式会社、株式会社大林組、カリモク家具株式会社、サントリーホールディングス株式会社、ソニー株式会社、ダイキン工業株式会社、株式会社竹中工務店、東京都、トヨタ自動車株式会社、株式会社日建設計、株式会社乃村工藝社、パナソニック株式会社、三井物産株式会社、三井ホーム株式会社、株式会社MUJIHOUSE、株式会社良品計画

協力：東京ミッドタウン日比谷

「木と生きる」イベントプログラム

- 建築家 藤本 壮介氏・Discover Japan統括編集長 高橋 俊宏氏によるオープニングトーク
- 木を題材にさまざまな角度で読み解いていくシンポジウム
- 人と木のかかわりあい方をインスタレーションで表現するイントロダクションエリア
- 森と都市を感じる空間で企業の木との向き合い方を知るパネルエキシビション
- 作品作りを通じて木に直接触れられるワークショップ

乃村工藝社ソーシャルグッドR&D「手デザイン」について



手で考えるデザイン

森と人の長い営みを次世代へ日々の仕事を通じてつないでいくために

乃村工藝社グループではソーシャルグッドR&D活動としてサステナブルデザインに取り組んでいます。「手デザイン」はその活動の一環であり、「豊かな空間づくりと未来の森づくりを両立する事業の実現」を目指し、産地との協働によって木材の価値を活かすデザインの開発に取り組んでいます。

本イベントの当社発表内容は、連携産地の一つ、埼玉県飯能市の林業・木材産業や地域の方々と、当社クリエイターがともに活動する中から生み出されました。イントロダクションエリアは廃棄される木くずなどに焦点をあて、インスタレーションとして昇華させる試みです。パネルエキシビションでは当社クリエイターが制作したプロトタイプを展示します。またシンポジウムでは、「手デザイン」の取り組みやクリエイションの変化をデザイナーがお話しします。

■ 人と木のかかわりあい方をインスタレーションで表現するイントロダクションエリア

「木と生きる」をテーマにした本イベントを象徴する空間として、東京ミッドタウン日比谷 1F アトリウムにイントロダクションエリアの空間を演出。木彫作品のインスタレーションと本イベントのイントロダクションからなる空間を設けます。香りや音、光を背景に五感で体験ください。

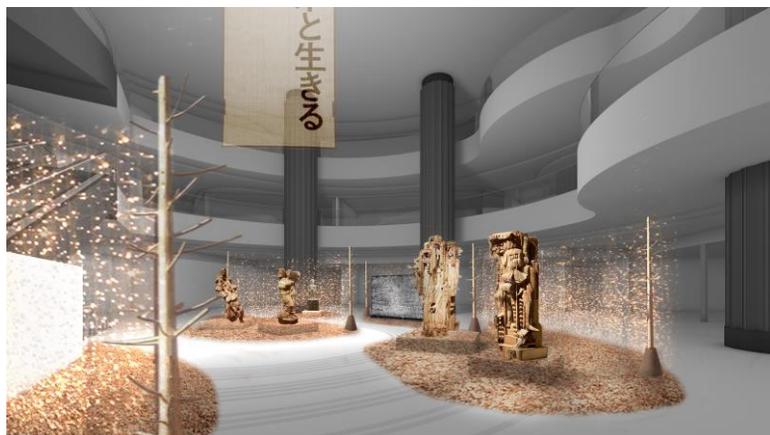
日時：2024年4月16日(火)～4月21日(日) ※常設

場所：東京ミッドタウン日比谷 1階 アトリウム

空間プロデュース：乃村工藝社

Concept 森の粒子/粒子の森

長い年月と手間をかけて育てられた木は、やがて伐られ、削られたのちに私たちの生活に豊かな潤いをもたらしてくれます。それは木、ひいては木を育む森を語る上で欠かせないものであり、私たち人間と森をつなぐ大切な営みです。ここでは、さまざまな過程で発生する森の粒子を拾い集め、儚く舞い上がる粒子によって空間を包み込むことで、香りや音、光を背景に、複数の木彫作品を五感で感じながら、森と私たちの関係を再考する場をつくりだしています。



乃村工藝社が空間プロデュースするイントロダクションエリア (イメージ)

担当デザイナー



デザイナー 数坂 幸生



デザイナー 井上 裕史



デザイナー 小野 真由子



プランナー 梅田 晶子

乃村工藝社の取り組み内容 -2

■ 森と都市を感じる空間で企業の木との向き合い方を知るパネルエキシビジョン

東京ミッドタウン日比谷地下1階日比谷アーケードには、本イベントの共同参加団体による木や森、都市に関する先進的な取り組みを大型パネルで展示します。国土の約7割が森林という資源に恵まれている日本における、各企業の「木」との向き合い方を訪れる方々にわかりやすく発信。持続可能な木々との生活を学ぶ森と都市を感じる空間を創出します。



日時：2024年4月16日(火)～4月21日(日)

場所：東京ミッドタウン日比谷地下1階 日比谷アーケード

空間プロデュース：日建設計

出展団体：イトーキ、エステー、大林組、カリモク家具、ソニー、ダイキン工業、竹中工務店、東京都、トヨタ自動車、日建設計、西尾レントオール、乃村工藝社、パナソニック、三井物産、三井不動産、三井ホーム、MUJIHOUSE、良品計画

・ 乃村工藝社出展「手デザイン」

飯能市の産地に当社クリエイターが通い、身近な人工林のスギ・ヒノキに自らが触れ、手で考えました。そのアイデアの断片、加工実験、プロトタイプをご紹介します。



■ 木を題材にさまざまな角度で読み解いていくシンポジウム

東京ミッドタウン日比谷6F BASEQ HALLでは、木や自然を題材に文化・建築・保全などについて、各企業・団体の取り組みを発信するシンポジウムを実施します。木と人体との関係性や木を最大限生かしたもののづくり、企業による木・森を守る取り組みなど、多様な視点から「木」と向き合う2日間にぜひご参加ください。

日時：2024年4月18日(木)～19日(金)

場所：東京ミッドタウン日比谷6階 BASEQ HALL

申し込みURL：<https://kitoikiru.peatix.com/>

・ 乃村工藝社登壇 4月19日(金) 18:00～

「木を活かすものづくり2～木と地域振興・文化～」

木を活かした地域振興における課題と未来を考えるシンポジウム

登壇者：竹の熊 穴井俊輔氏、日建設計、乃村工藝社デザイナー 井上 裕史



デザイナー 井上 裕史

【井上 裕史プロフィール】

株式会社乃村工藝社 デザイナー

岡山県生まれ。父は一級建築士で神職。自身も数年前に神職の資格を取得。東京芸術大学大学院修了後、乃村工藝社に入社し博物館など文化施設、企業PR系の業務を経て、現在は主にホテル・旅館のデザインや地域創生案件を担当。直近の主なプロジェクトは「LOQUAT 西伊豆」、「LOQUAT Villa SUGURO」、「界 出雲」、「ES CON FIELD HOKKAIDO 『docomo CLUB LOUNGE』」など



LOQUAT 西伊豆 (株式会社ARTH様)

乃村工藝社について

乃村工藝社は、商業施設、ホテル、企業PR施設、ワークプレイス、博覧会、博物館などの企画、デザイン、設計、施工から運営管理までを手掛ける空間の総合プロデュース企業です。グループ全体では、全国10拠点・海外8拠点、国内外6つのグループ会社で事業展開しています。1892年(明治25年)から培ってきた総合力を活かし、フィジカルとバーチャルを融合させた空間価値の提供で、人びとに「歓びと感動」をお届けしています。近年は、持続可能な社会を実現するため、事業活動を通して幸せなインパクトを生み出す「ソーシャルグッド活動」を推進しています。